

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

2,4,5-トリクロロフェノールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

0210EFA

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類急性毒性試験」(1992 年)に準拠して実施した。

- (1) 被験物質: 2,4,5-トリクロロフェノール
- (2) 暴露方式: 半止水式(24 時間毎に試験液の全量を交換)
- (3) 供試生物: ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- (4) 暴露期間: 96 時間
- (5) 試験濃度(設定値): 対照区、1.0、1.3、1.8、2.4 および 3.2mg/L (公比:1.3)
- (6) 試験液量: 5L/容器
- (7) 連数: 1 容器/試験区
- (8) 供試生物数: 10 尾/試験区
- (9) 試験水温: 24±1℃
- (10) 溶存酸素濃度: 飽和濃度の 60%以上
- (11) pH: 試験液の pH 調整なし
- (12) 照明: 室内光, 16 時間明/8 時間暗
- (13) 分析法: HPLC 法

結 果

(1) 試験液中の被験物質濃度

設定濃度に対して±20%を超える分析結果があったため、各影響濃度の算出には測定値(幾何平均)を採用した。

(2) 96 時間の半数致死濃度(LC50): 1.5mg/L(95%信頼区間:1.2mg/L~1.8mg/L)